

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
福岡ウェディング&ブライダル専門学校	平成26年3月11日	岩本 克也	〒 812-0013 (住所) 福岡県福岡市博多区博多駅東1-10-39 (電話) 092-434-7007				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人三幸学園	昭和60年3月8日	屋間 一彦	〒 113-0033 (住所) 東京都文京区本郷三丁目23番16号 (電話) 03-3814-6151				
分野	認定課程名	認定学科名	専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度		
商業実務	商業実務専門課程	ウェディングプランナー科	平成28(2016)年度	-	令和1(2019)年度		
学科の目的	「世の中の困難を希望に変える」をミッションとし、学校教育法に基づき、ウェディング・ブライダルの関連分野において活躍できる人材を育成するため、必要とされる知識や技能を教授することを目的とする。						
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	本物の結婚式のすべてをプロデュースしたり、結婚式場やゲストハウス、ドレスショップなどのブライダルの現場で、アルバイトとして働きながら実践力を磨くことができる。主な取得可能な資格は、レストランサービス技能検定、ブライダルコーディネーター検定、ブライダルプランナー検定、アソシエイトブライダルコーディネーター検定。						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入 62 単位	49 単位	45 単位	6 単位	0 単位	0 単位
生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数(生徒実員の内数)(B)	留学生割合(B/A)				
160 人	206 人	0 人	0 %				
就職等の状況	■卒業生数(C)		79	人			
	■就職希望者数(D)		78	人			
	■就職者数(E)		76	人			
	■地元就職者数(F)		35	人			
	■就職率(E/D)		97	%			
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)		46	%			
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)		96	%			
	■進学者数		1	人			
	■その他						
	(令和4年度卒業者に関する令和4年5月1日時点の情報)						
■主な就職先、業界等 (令和4年度卒業生) 結婚式場、ゲストハウス、ホテルなどブライダル業界							
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: ※有の場合、例えば以下について任意記載		無				
当該学科のホームページURL	https://www.sanko.ac.jp/fukuoka-bridal/						
企業等と連携した実習等の実施状況 (A、Bいずれかに記入)	(A: 単位時間による算定)						
	総授業時数					単位時間	
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数					単位時間	
	うち企業等と連携した演習の授業時数					単位時間	
	うち必修授業時数					単位時間	
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数					単位時間	
	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数					単位時間	
	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)					単位時間	
	(B: 単位数による算定)						
	総授業時数					100 単位	
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数					6 単位	
	うち企業等と連携した演習の授業時数					21 単位	
	うち必修授業時数					4 単位	
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数					0 単位	
	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数					1 単位	
	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)					6 単位	

教員の属性（専任教員について記入）	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)	5人
	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)	5人
	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)	0人
	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)	0人
	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)	0人
	計	10人
	上記①～⑤のうち、実務家教員（分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定）の数	6人

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業等との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行い、実践的かつ専門的な職業教育を実施することを目的として、教育課程編成委員会を設置する。委員会は次の各号に掲げる事項を審議し、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。

- (1)カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- (2)各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- (3)教科書・教材の選定に関する事項
- (4)その他、教員としての資質・能力の育成に必要な研修に関する事項等

またより正確に業界における動向や求められる人材要件を把握するため、就職・実習先企業や業界団体、資格・検定団体等と関係性を深め、幅広く連携を図ることで、業界の求めるニーズを確実に捉え、本校のカリキュラムや授業内容に反映する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会での審議を通じて示された企業等の要請その他の情報・意思を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施するに相応しい教育課程の編成を協力して行うものとして位置づけている。

具体的には、審議を通じて示された教育課程編成に係る意見を基に、副校長および各校教務チームによって教育課程およびシラバスの改善素案が作成され、ブライダル分野専門委員会にて提案される。

提案に基づき、ブライダル分野専門委員会にて審議の上、次年度の教育課程およびシラバスに改善内容が反映される。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年7月31日現在

名 前	所 属	任期	種別
林 一馬	全米ブライダルコンサルタント協会	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日(1年)	①
石見 茜	高見株式会社	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日(1年)	③
山下 直	株式会社ソニックホテルアンドリゾート	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日(1年)	③
浅井 大士	アイ・ケイ・ケイ株式会社 ララシヤンス博多の森	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日(1年)	③
椎原 和紀	株式会社Pacific Diner Service	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日(1年)	③
藤川 千奈美	福岡ウェディング&ブライダル専門学校 副校長	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日(1年)	-
渡邊 亜子	福岡ウェディング&ブライダル専門学校 教務主任	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日(1年)	-
中村 朋美	福岡ウェディング&ブライダル専門学校 教務主任	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日(1年)	-

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「-」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(5月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和4年5月25日(水) 17:00～18:00

第2回 令和5年2月8日(水) 16:00～17:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

委員会にていただいた以下の意見について対応を行っている。

世代の特徴を捉えた目標設定や学生指導を行う

→対応:『Z世代傾向理解セミナー』を実施し世代への理解及び学生へのアプローチ方法の対策を行った。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

基本方針として「最幸の結婚式を創り上げることを通じて新郎新婦だけではなく、その家族、その人生も幸せにできるNO.1のプランナーを育成する」という本校人材育成方針のもと、ブライダル業界等との連携で実践的かつ専門的な職業教育を実践していくこと。ブライダル業界においては知識と接客力が重要であるということは不変のものであり、双方を兼ね備えることで長く業界で活躍することができ、業界の発展にもつながっていく。そこから本校教育理念である「技能(知識・技術・理論)」「心(人間教育・対人基礎力)」の調和をもとに授業計画から本校教員も参加し、「技術・理論の習得レベル」及び「マナー」「コミュニケーション」など現場に即した内容を検討、そして定期的に授業の振り返りを行い、継続的かつ改善工夫を実施している。企業等と連携することで、より早く現場の変化や課題に対しての対応及び教育への反応ができ、本校そして業界の求める「人材の育成」に貢献できると考える。生徒の学修評価は、100点法で素点を出し、それを20で割り四捨五入し、5点法に換算する。連携企業も評価を行う。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

本校教員と連携企業の授業担当者で授業の方向性及び企業側が教えたい(伝えたい)ことを打ち合わせの上、年度方針を決める。また、その方針をもとに企業が年間の授業計画を作成の上、本校教員が確認し、授業内容を決定する。授業終了後は定期的に授業の振り返りや改善点を打ち合わせ、次回の授業に活かしていく。企業は評価指標に沿って評価試験の作成及び採点・評価を実施し、生徒の学習状況について直接確認するとともに、授業担当者と情報交換を行う。授業終了時には、授業担当者による生徒の学修成果の評価を踏まえ、担当教員が成績評価・単位認定を行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
インターンシップ I	実際の現場で、挙式・披露宴の基礎知識、社会人に必要なビジネスマナーを学ぶ。また演習を通し、現場スタッフに必要な実践力を身に付ける。	株式会社テイクアンドギブニーズ、アイ・ケイ・ケイ株式会社、株式会社メモリード、株式会社 Pacific Diner Service 総数35
ブライダルプロジェクト I B	ブライダル業界を担う人材として業界の課題を見つけ、改善するための企画力と再現力を身につける。	アイ・ケイ・ケイ株式会社
ブライダルプランナー検定 I	欧米のウェディングと日本のウェディングの基礎知識・用語・業界特性を理解・習得し、さまざまな要望に応えられるプロフェッショナルな人材を育成する。	株式会社 プリンセスプロジェクト
ブライダル映像知識	プランナーとしての映像へのアプローチ・打ち合わせ方法やプロのテクニックを身につける。	有限会社 プランニングナック
サービス実践A	婚礼やレストランにおけるサービスの知識と技術を学び、お客様に合わせたサービスができるようになる。また、テーブルマナーや飲食に関する知識を学び知見を広げる。	株式会社 Pacific Diner Service

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

実践的かつ専門的な職業教育を実施し、明日のブライダル業界を担う人材を養成するためには、教員一人ひとりが常に業界ならびに実務に関する最新の知識を持ち、指導スキルを身につけようという向上心がなければならない。そのために、「研修等に係る諸規程」に基づき、計画的に以下の研修を実施している。

- ・企業等から講師を招いた実践的かつ専門的な知識・技術・技能を修得するための研修
- ・企業等から講師を招いた指導力の修得・向上のための研修

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	ウェディング業界の求める人材	連携企業等:	一般社団法人日本ウェディングスタイリスト協会
期間:	令和4年8月19日(金)	対象:	教職員(10名)
内容:	これからのウェディング業界の展望や動向について具体例を交え実践的に学ぶ		

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	Z世代傾向理解セミナー	連携企業等:	リ・カレント株式会社
期間:	令和5年3月30日(火)	対象:	全教職員(50名)
内容:	Z世代傾向理解を理解し効果的な伝え方接し方を実践的に学ぶ		

(3) 研修等の計画			
①専攻分野における実務に関する研修等			
研修名:	ブライダル企業の動向(意見交換会)	連携企業等:	株式会社テイクアンオギウ・ニーズ他8社
期間:	令和5年8月22日(火)	対象:	教職員(10名)
内容	座談会形式にてウェディング業界の現状や今後の展望について学ぶ		
②指導力の修得・向上のための研修等			
研修名:	人を動かすPowerPoint資料の作り方研修	連携企業等:	株式会社インソース
期間:	令和5年12月15日(金)	対象:	全教職員(50名)
内容	生徒指導において効果的なレイアウトやデザインの方法を実践的に学ぶ		
4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係			
(1) 学校関係者評価の基本方針			
<p>学校関係者として、関連分野の業界関係者及び卒業生、地域に根差した関連企業と共に、学校関係者評価委員会を設置して、教育目標や教育について評価し、その評価結果を次年度の教育活動および学校運営の改善の参考とする。</p> <p>学校関係者評価は、「専修学校における学校評価のガイドライン」の評価項目を使用して実施した自己点検・自己評価の結果を基に「実施することを基本方針とする。また評価結果は学校のホームページで公表し、委員会で得られた意見についてはすみやかに集約し、各業務担当者にフィードバックすることで、学校運営の改善に生かすものとする。</p>			
(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応			
ガイドラインの評価項目		学校が設定する評価項目	
(1) 教育理念・目標	(1) 教育理念・目標	(1) 教育理念・目標	(1) 教育理念・目標
(2) 学校運営	(2) 学校運営	(2) 学校運営	(2) 学校運営
(3) 教育活動	(3) 教育活動	(3) 教育活動	(3) 教育活動
(4) 学修成果	(4) 学修成果	(4) 学修成果	(4) 学修成果
(5) 学生支援	(5) 学生支援	(5) 学生支援	(5) 学生支援
(6) 教育環境	(6) 教育環境	(6) 教育環境	(6) 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	(7) 学生の受入れ募集	(7) 学生の受入れ募集	(7) 学生の受入れ募集
(8) 財務	(8) 財務	(8) 財務	(8) 財務
(9) 法令等の遵守	(9) 法令等の遵守	(9) 法令等の遵守	(9) 法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	(10) 社会貢献・地域貢献	(10) 社会貢献・地域貢献	(10) 社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流			
※(10)及び(11)については任意記載。			
(3) 学校関係者評価結果の活用状況			
委員会にいただいた以下の意見について対応を行っている。			
卒業生向け支援の内容及び発信方法について強化する			
⇒対応: 卒業生用LINEアカウントを活用し卒業後も繋がること出来る体制を整える			
(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿			
令和5年7月31日現在			
名前	所属	任期	種別
浅井 大士	アイ・ケイ・ケイ株式会社 ララチャンス博多の森	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日(1年)	業界関係者
久芳 幸子	西岡総業 株式会社	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日(1年)	地域住民
須藤 綾佳	BLD WEDDINGS 株式会社	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日(1年)	卒業生
※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例) 企業等委員、PTA、卒業生等			
(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期			
(ホームページ)・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())			
URL:	https://www.sanko.ac.jp/fukuoka-bridal/information/assets/pdf/kankeisyha.pdf		
公表時期:	令和5年7月31日		

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」に則って情報提供を行うことを基本方針とし、以下の姿を目指す。

1. 学校の指導方針や課題への対応方法等に関し、教職員・生徒間、学校・家庭間の共通理解が深まり、教育活動の活性化や学校運営の円滑化につなげること。
2. 入学希望者やその保護者に対し、進路選択に当たっての有用な情報を提供するとともに、一人ひとりの能力・適性にあった望ましい進路の実現に資すること。
3. キャリア教育・職業教育をはじめとした教育活動の状況等について、業界関係者に情報提供することで、相互の対話が促され、実習・就職指導等企業等との連携による活動の充実や、業界等のニーズを踏まえた教育内容・方法の改善につなげること。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標および計画
(2) 各学科等の教育	学科概要、カリキュラム、シラバス、客観的な指標の算出方法、卒業要
(3) 教職員	教員数、組織、専門性
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み、実習実技への取り組み
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事
(6) 学生の生活支援	生活上の諸問題への対応
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金、就学支援
(8) 学校の財務	学校の財務
(9) 学校評価	自己評価・学校関係者評価結果
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ) 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: <https://www.sanko.ac.jp/fukuoka-bridal/information/>

公表時期: 令和5年7月31日

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 ウェディングプランナー科)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			ブライダル知識 I A	現場での実践に活かせるブライダルの基礎知識・用語・業界特性を理解・習得し、さまざまな要望に応えられるプロフェッショナルな人材を育成する。	1・前	15	1	○			○			○	○
2	○			ブライダル知識 I B	現場での実践に活かせるブライダルの基礎知識・用語・業界特性を理解・習得し、さまざまな要望に応えられるプロフェッショナルな人材を育成する。	1・後	15	1	○			○			○	
3	○			未来デザインプログラムA	三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」を体现する為の授業として、7つの習慣を体系的に学ぶことで、社会人／職業人としてあるべき人格を高め、主体性を発揮して物事にチャレンジできる人材に成長する。	1・前	15	1	○			○		○		
4	○			未来デザインプログラムB	三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」を体现する為の授業として、7つの習慣を体系的に学ぶことで、社会人／職業人としてあるべき人格を高め、主体性を発揮して物事にチャレンジできる人材に成長する。	1・後	15	1	○			○		○		
5			○	ブライダルビジネスマナー	敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など、社会人としての考え方やマナーを身につける。	1・前	30	2	○			○			○	
6			○	パーソナルカラー	色に関する知識・法則・技法を理論的かつ実践的に身に付ける。	1・後	30	2	○			○			○	○
7			○	キャリアデザイン I A	就職の心構えや企業のエントリー方法を知る。面接や内定後までの流れを知る。	1・前	30	2	○			○		○		
8			○	キャリアデザイン I B	就職の心構えや企業のエントリー方法を知る。面接や内定後までの流れを知る。	1・後	30	2	○			○		○		
9			○	マーケティング	新しい商品を生み出すためにマーケティングの必要性、仕組みを理解する。	1・後	15	1	○			○		○		
10			○	ドレスデザインA	衣装の知識を学び、検定を取得する。	1・前	30	2	○			○			○	

11			○	ドレスデザインB	衣装の知識を学び、検定を取得する。	1・後	30	2	○				○				○	
12			○	インターンシップ対策	インターンシップを行なう上での基礎知識を身に付ける。	1・前	15	1	○				○				○	
13			○	アテンド実践A	結婚式当日のアテンダー（介添）の知識、立ち振る舞い、と心得を修得することにより、結婚式当日の挙式の流れも理解する。	1・前	30	1		○			○				○	
14			○	フラワーアレンジ	ウェディングに人気の花の種類・値段・ブーケ・装花のスタイルと作成技術を学ぶ。	1・前	45	2		○			○				○	○
15	○			ブライダルプロジェクトIA	日頃の授業のアウトプットとして人前式の企画・施行の全てを行うことができる。	1・前	30	1		○			○				○	
16	○			ブライダルプロジェクトIB	ブライダル業界を担う人材として業界の課題を見つけ、改善するための企画力と再現力を身につける。	1・後	30	1		○			○				○	
17	○			ブライダル知識IIA	現場での実践に活かせるブライダルの基礎知識・用語・業界特性を理解・習得し、さまざまな要望に応えられるプロフェッショナルな人材を育成する。	2・前	30	2		○			○				○	○
18	○			ブライダル知識IIB	現場での実践に活かせるブライダルの基礎知識・用語・業界特性を理解・習得し、さまざまな要望に応えられるプロフェッショナルな人材を育成する。	2・後	30	2		○			○				○	
19			○	キャリアデザインIIA	就職の心構えや企業のエントリー方法を知る。面接や内定後までの流れを知る。	2・前	15	1		○			○				○	
20			○	キャリアデザインIIB	就職の心構えや企業のエントリー方法を知る。面接や内定後までの流れを知る。	2・後	15	1		○			○				○	
21			○	ブライダルジュエリー	ブライダルの関わるジュエリーの基礎知識を学ぶ。	2・前	15	1		○			○				○	
22	○			ブライダルプロジェクトIIA	日頃の授業のアウトプットとして現場体験ができる行事を取り入れ、即戦力とプロの感覚を身に付ける。	2・前	30	1		○			○				○	
23	○			ブライダルプロジェクトIIB	日頃の授業のアウトプットとして現場体験ができる行事を取り入れ、即戦力とプロの感覚を身に付ける。	2・後	30	1		○			○				○	

24			○	ブライダル セールスA	新規接客や打合せにおいての立ち振る舞いやカウンセリング方法、トークスキル等を理解・習得し、円滑なコミュニケーションでセールスできるようになる。	1・前	30	2	○				○				○
25			○	ブライダル セールスB	新規接客や打合せにおいての立ち振る舞いやカウンセリング方法、トークスキル等を理解・習得し、円滑なコミュニケーションでセールスできるようになる。	1・後	30	2	○				○				○
26			○	コ ー デ ィ ネートA	会場・テーブルコーディネート・イメージ分類などブライダルデザインに繋がる知識や技術を学ぶ。	1・後	15	1	○				○				○
27			○	ア テ ン ド 実 践B	結婚式当日のアテンド業務・宴会キャプテン業務を理解する。	1・後	15	1	○				○				○
28			○	サ ー ビ ス 実 践A	婚礼やレストランにおけるサービスの知識と技術を学び、お客様に合わせたサービスができるようになる。また、テーブルマナーや飲食に関する知識を学び知見を広げる。	1・前	30	1		○			○				○ ○
29			○	パ ー テ ィ プ ロデュース	テーマに合わせた挙式、披露宴のプランニングが出来るように基礎的な結婚式の流れや用語を身につける。	1・前	30	1		○			○				○
30			○	パ ソ コ ン 演 習A	検定取得を目指し、基本的な入力方法から書類作成など、パソコンの技能を習得。	1・前	30	1		○			○				○ ○
31			○	パ ソ コ ン 演 習B	検定取得を目指し、基本的な入力方法から書類作成など、パソコンの技能を習得。	1・後	30	1		○			○				○ ○
32			○	コ ー デ ィ ネートB	会場・テーブルコーディネート・イメージ分類などブライダルデザインに繋がる知識や技術を学ぶ。	2・前	15	1	○				○				○
33			○	コ ー デ ィ ネートC	会場・テーブルコーディネート・イメージ分類などブライダルデザインに繋がる知識や技術を学ぶ。	2・後	15	1	○				○				○
34			○	心理学	ブライダル業界のスタッフとしてお客様心理や一緒に働く仲間の心理と自己のモチベーションマネジメントを身に付ける。	2・後	30	2	○				○				○ ○
35			○	ブライダル 英会話 I A	外国人のゲストに英語でおもてなしできるように会話力をつける。	2・前	30	1		○			○				○
36			○	ブライダル 英会話 I B	外国人のゲストに英語でおもてなしできるように会話力をつける。	2・後	30	1		○			○				○

37			○	プレゼン・コミュニケーションA	場面や相手にふさわしい挨拶、正しい日本語、姿勢や表情の作り方、傾聴力などお客様とのコミュニケーションに必要なスキルを学ぶ。	2・前	30	1		○		○					○	○	
38			○	プレゼン・コミュニケーションB	場面や相手にふさわしい挨拶、正しい日本語、姿勢や表情の作り方、傾聴力などお客様とのコミュニケーションに必要なスキルを学ぶ。	2・後	30	1		○		○						○	○
39			○	ブライダル映像知識	プランナーとしての映像へのアプローチ・打ち合わせ方法やプロのテクニックを身につける。	2・前	30	1		○		○						○	○
40			○	WEBプランニング	プランナーとしてWEBマーケティングの基礎を学び、WEB上での顧客の認知から購買までの流れを理解する。	2・後	30	1		○		○						○	○
41			○	ベーシックメイクA	メイクの基礎知識を学び、基礎的なメイクアップ技術を身につける。	1・前	45	2		○		○						○	
42			○	ベーシックメイクB	メイクの基礎知識を学び、基礎的なメイクアップ技術を身につける。	1・後	45	2		○		○						○	
43			○	ブライダルヘアメイクI	ヘアアレンジの基礎テクニックを活かし、アレンジ技術の幅を広げる。	2・前	30	1		○		○						○	○
44			○	ブライダルヘアメイクII	ヘアアレンジの基礎知識テクニックを学び技術の幅を広げる。	2・後	30	1		○		○						○	○
45			○	着付けA	着付けの基礎を学び、着付けの知識があるプランナーを育成する。	2・前	30	1		○		○						○	○
46			○	着付けB	着付けの基礎を学び、着付けの知識があるプランナーを育成する。	2・後	30	1		○		○						○	○
47			○	ビジネススキルA	ブライダル業界だけではなく「ビジネスマン」としてのスキル・知識を身に付けることで就職活動の際に、大学生に求められるような幹部候補生としての採用を目指す人材を育成する。	1・前	15	1		○		○						○	○
48			○	ビジネススキルB	ブライダル業界だけではなく「ビジネスマン」としてのスキル・知識を身に付けることで就職活動の際に、大学生に求められるような幹部候補生としての採用を目指す人材を育成する。	1・後	15	1		○		○						○	○
49			○	リーダーシップ論A	チームで成果を出すための理論・人をまとめる力・人を活かす方法論。	1・前	30	1		○		○						○	○

50			○	リーダーシップ論B	チームで成果を出すための理論・人をまとめる力・人を活かす方法論。	1・後	30	1		○	○					○	○	
51			○	ブライダルフェア企画・プレゼンA	マーケティングの知識を活用してブライダル業界の動向・流行を捉え、ブライダルフェアの企画・立案ができ、社内や新郎新婦へ向けての訴求力を高める技術を磨く。	2・前	30	1		○	○						○	
52			○	ブライダルフェア企画・プレゼンB	マーケティングの知識を活用してブライダル業界の動向・流行を捉え、ブライダルフェアの企画・立案ができ、社内や新郎新婦へ向けての訴求力を高める技術を磨く。	2・後	30	1		○	○						○	
53			○	ITコミュニケーションスキルA	パソコンの応用知識とブライダル業界に必要なビジネスメールの送り方、パワーポイントや案内状などの作成を学ぶ。	2・前	30	1		○	○						○	
54			○	ITコミュニケーションスキルB	パソコンの応用知識とブライダル業界に必要なビジネスメールの送り方、パワーポイントや案内状などの作成を学ぶ。	2・後	30	1		○	○						○	
55			○	ブライダルプランナー検定I	欧米のウェディングと日本のウェディングの基礎知識・用語・業界特性を理解・習得し、さまざまな要望に応えられるプロフェッショナルな人材を育成する。	1・後	45	3		○	○						○	○
56			○	サービス実践B	婚礼やレストランにおけるサービスの知識と技術を学び、お客様に合わせたサービスができるようになる。また、テーブルマナーや飲食に関する知識を学び知見を広げる。	1・後	30	1		○	○						○	○
57			○	ブライダルプランナー検定II	欧米のウェディングと日本のウェディングの基礎知識・用語・業界特性を理解・習得する他、セールス力まで身につけ、さまざまな要望に応えられるプロフェッショナルな人材を育成する。	2・前	45	3		○	○						○	○
58			○	オリジナルプランニングA	新郎新婦のカウンセリングをもとに、カップルの特性を捉えたプランニング・打合せができるようになる。	2・前	30	1		○	○						○	○
59			○	オリジナルプランニングB	新郎新婦のカウンセリングをもとに、カップルの特性を捉えたプランニング・打合せができるようになる。	2・後	30	1		○	○						○	○
60			○	ハウスセールスA	新規接客や打合せにおいての立ち振る舞いやカウンセリング方法、トークスキル等を理解・習得し、円滑なコミュニケーションでセールスできるようになる。	2・前	30	1		○	○						○	

73			○	ホテルセールスA	新規接客や打ち合わせにおける立ち居振る舞い、敬語、カウンセリング、トークスキル等を理解・修得し、円滑なコミュニケーション力をつける。新規接客で重要であるお客様の希望を引き出し、自社の魅力と合わせ提案し、成約に結び付ける過程を理解し、身に付けた基礎知識を実践（ロール・プレイング）でお客様に合わせて使える話し方技法、考え方、気付きのポイントを学ぶ。	2・前	30	1			○		○			○	
74			○	ホテルセールスB	新規接客や打ち合わせにおける立ち居振る舞い、敬語、カウンセリング、トークスキル等を理解・修得し、円滑なコミュニケーション力をつける。新規接客で重要であるお客様の希望を引き出し、自社の魅力と合わせ提案し、成約に結び付ける過程を理解し、身に付けた基礎知識を実践（ロール・プレイング）でお客様に合わせて使える話し方技法、考え方、気付きのポイントを学ぶ。	2・後	30	1			○		○			○	
75			○	インターンシップⅠ	ブライダルスタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける。	1・後	60	2				○		○		○	○
76			○	インターンシップⅡ	ブライダルスタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける。	2・前	60	2				○		○		○	○
77			○	インターンシップⅢ	ブライダルスタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける。	2・後	60	2				○		○		○	○
合計							77	科目	100 単位（単位時間）								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件： 本校に修業年限以上在学し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に、卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示すとおりとする。		1 学年の学期区分	2 期
履修方法： 原則として教育課程に定められている順序で履修する。		1 学期の授業期間	15 週

（留意事項）

1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。